

<h1>カウンセリング</h1>	単位数	履修方法	配当年次
	2	R	2年以上
科目コード	EC3708	担当教員	衛藤 順子

この科目は、教職免許希望者向けの「カウンセリング」です。福祉心理学科の「カウンセリングⅠ・Ⅱ」は『レポート課題集C（心理専門編）』をご覧ください。

■科目の内容

近年、カウンセリングの需要が高まっています。これは、日本だけではなく世界的な傾向であると言われています。そうした中、カウンセラーの専門化、資格化の動きが進む一方、「心の専門家」についての疑問も提起され始めています。カウンセリングの技法やシステムに関する論述が盛んであるのに対し、カウンセリングとは何かという本質的論議がなおざりにされているように思われます。

本科目では、カウンセリングの理論と技法の基本的な知識を学ぶにとどまらず、なぜ人はカウンセリングを必要としているか、人生におけるカウンセリングの意義、その本質を考えていくことを目的とします。

■到達目標

自分らしさを活かしたカウンセリングの実践を目標に、カウンセリングの心得、カウンセリングの理論を習得する。

■教科書

- 1) 水島恵一・岡堂哲雄・田畑治編『カウンセリングを学ぶ（新版）』有斐閣選書、1987年
- 2) 追加資料（A3両面1枚）

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	現代とカウンセリング	カウンセリングの歴史を通して、現代におけるカウンセリングの意義を考察する。	カウンセリングの現代的、人間的意義を問う。
2	カウンセリングの理論的視点	創始者の個人的背景、出発点となった事例の検討を通して、理論、技法の本質をつかむ。	カウンセリングの理論、技法は、どれも創始者の個人的体験から編み出されたものである。
3	力動論の視点	カウンセリングの一つの大きな流れである精神力動論の立場について学ぶ。	精神力動論の立場とは、人間の心の構造や働きに「無意識」のもつ力を重視する。

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
4	パーソナリティの成長論	人間のもっている基本的な傾向としての実現傾向を信頼し、それが最大限に発揮できるカウンセラーの態度条件を吟味したロジャーズの立場を学ぶ。	この立場の人間観は、自由意志と選択と目的をもつ人間、自己決定と自己実現の力を備えた人間である。
5	学習理論に基づく立場	行動カウンセリングの基礎にある学習理論を理解し、行動カウンセリングのあり方を学ぶ。	行動カウンセリングの人間観とは、学習する力をもつ人間である。
6	カウンセリングを求める人	カウンセリングを求める人について、危機的状況との関連から考察する。	危機的状況には、発達上必然的な危機と偶発的状況危機とがある。
7	カウンセラー（カウンセリングを受け持つ人）	カウンセラーの基本的在り方について学ぶ。	カウンセラーとしての自覚
8	カウンセリングの具体例(1)クライアント中心カウンセリング	具体例をもとに、クライアント中心カウンセリングが実際にどのようにすすむかを理解する。	過程志向的。十分に機能する人。
9	(2)分析的カウンセリング	具体例をもとに、分析的カウンセリングの治癒過程を理解する。	「鏡」としての精神分析者。「転移」「治癒的退行」
10	(3)行動カウンセリング	具体例をもとに、行動カウンセリングの原理を理解する。	悩みごとを行動におきかえる。段階的目標設定。強化とモデルと指導。
11	クライシス・インターベンション（危機介入）	危機介入の登場の歴史、その基本的な考え方と方法を学ぶ。	戦争神経症。悲哀反応。自殺予防運動。
12	現代人の生活とカウンセリング	カウンセリングが、家族、学校生活、職場などの生活上の諸領域でどのように適用されるかを学ぶ。	各生活場面にはそれぞれ特有の人間関係があり、特有の危機がある。
13	私のカウンセリング観	4人の先人の「私のカウンセリング観」を読み、カウンセリングのあり方を味わう。	「理論、技法」からは伝わりにくい、カウンセリングのニュアンスを味わう。
14	教育現場におけるカウンセリングのあり方、意義について	学校カウンセラーの立場について理解する。	教師の役割とカウンセラーの役割
15	教育現場におけるカウンセラーの他機関との連携について	カウンセラーの教育機関・他機関との連携について、問題点を考察する。	連携の前提。

■レポート課題

本科目のレポート課題は問題形式になっています。専用解答用紙（教科書送付の際同封）に解答を記入してください。または、以下の各問題番号を記入したうえでその解答を通常のレポート用紙に記入しても可です。

こんにち、さまざまなカウンセリング、心理療法が行われていますが、いずれも、それぞれの創始者のきわめて個人的な体験から生み出されたものです。彼らの個人的体験が普遍的価値をもつようになったということが大切です。

カウンセリング、心理療法の創始者について、次の質問に答えて下さい。

問1 次の文中の①から⑮の空欄に適切な語句を入れて下さい。いずれもテキストの文中にある言葉です。(テキスト13～39頁)

- a) ジークムント・フロイトは、(①)年に、現在のチェコ共和国のモラヴィア地方の小都市フライベルグに生まれました。父親は(②)人で毛織物商人でした。フロイトが4歳の時に、一家はオーストリアの(③)に移住しました。(③)こそ、彼がナチス・ドイツに追われて、83歳の時、(④)に亡命するまで、ずっと住みついた土地なのです。
- b) フロイトが精神分析を創始することに、最も影響を与えたのは、先輩(⑤)でした。(⑤)が扱ったヒステリーの症例O・アンナに、(⑤)は催眠暗示療法を施していましたが、アンナが「甘える」ことを視てとっていたのでした。アンナはこのような状況で感情を吐露したのです。これを(⑥)と呼びます。(⑤)は、このやり方を催眠カタルシスと呼んでいたのです。アンナ自身は、これを(⑦)とか煙突掃除法とも呼んでいました。
- c) フロイトは、治療の方法として、カタルシス療法から(⑧)への道筋をたどるようになります。
- d) アルフレット・アドラーは(⑨)年ウイーンに生まれ、両親はユダヤ人でした。4歳までクル病のために歩行できなく、何度も路上で事故に遭いました。彼は、自分のそのような身体的虚弱の代償として、知的に優秀になることで、それを補ったのでした。アドラーは、神経症や性格の形成において重要な役割を果たすものは、(⑩)を克服しようとする(⑪)への意志であると考えました。この(⑪)への意志というのは、F・ニーチェのいう権力意志のことです。
- e) (⑫)は、1875年スイスで生まれました。父親はプロテスタントの牧師でした。彼のなかに強い宗教的色彩があるのは、父親やその一族が教会の牧師であったことと無関係ではないと思われます。母親は、(⑫)にとって複雑で問題の深い人でした。(⑫)が3歳のとき、両親は一時別居し、その際(⑫)もひどい湿疹にかかったのです。母親は情緒障害と抑うつに悩まされていたのです。母なるものの二重性、人格には、外面と内面の両面が共存しているという(⑫)の理論は幼少期からの自らの体験を通して、打ち出されたと考えられます。
- f) 「いつの時代にも、その時代に特有のノイローゼがあります。いまは、かつてないほど多くの人たちが、生き甲斐を見失い、生きることの無意味さ、つまらなさに悩んでいます」。これこそ(⑬)が強調し、現代を象徴する苦悩と呼んだものです。(⑬)の人間観は、人間の(⑭)への意志にあります。このような人間観は、自らが原体験したナチス・ドイツの強制収容所での深刻な事態を通して、より一層確実なものになりました。
- g) エリクソンは、1902年ドイツに生まれました。両親はデンマーク人でした。父親はエリクソンが生まれると間もなく亡くなり、やがて母親はエリクソンを連れて再婚しました。彼は若い頃は絵描きになるよう努力し、本格的な精神分析の訓練を受けたのは、30歳直前の頃でした。こうした生い立ちの中で(⑮)の概念が成立したと考えられます。

問2 ロジャーズの来談者中心のカウンセリングについて、以下の問に答えてください。

- a) ロジャーズが自分自身の見解を編み出すようになった、重要な経験について簡単に述べて下さい。(テキスト31～32頁)
- b) カウンセリング過程での必要十分条件について説明してください。(テキスト33～34頁)
- c) カウンセリングの目標はどういうことにおいでいますか。(テキスト73～76頁)

1 単位め

1 単位め	<p>問3 分析的カウンセリングについて、以下の問に答えてください。(テキスト93～110頁)</p> <p>a カウンセラーの役割は、何とされていますか。</p> <p>b 「転移」「治療的退行」について、簡単に説明してください。</p> <p>c 分析的カウンセリングの目標はということにおいていますか。</p> <p>問4 行動カウンセリングについて、以下の問に答えてください。(テキスト37～39頁、111～121頁)</p> <p>a 基礎にある理論は何という理論ですか。</p> <p>b その理論の代表的人物を3名あげてください。</p> <p>c 行動カウンセリングの原理について、簡単に説明してください。</p>
2 単位め	<p>課題1. 教育現場におけるカウンセリングのあり方、意義について、述べなさい。(追加資料を参照)</p> <p>課題2. (提出は任意) テキストの「3 現代人の生活とカウンセリング」(第11章から第14章)の中から関心ある分野を1つ選び、あなたの経験や見解も入れて、説明してください。</p>

■アドバイス

1単位め アドバイス

創始者のどのような経験から、その理論、技法が導き出されたのかを知ることによってそれぞれの本質をよくつかむことができます。自伝、原典を「味わう」ことをお勧めします。

2単位め アドバイス

因みに、フランクルは、「ノイローゼが治るとは、苦悩する能力を甦らせることにほかならぬ」「自由な意志と決断とをもって、苦悩に耐えながら、人生を切り拓いていく人間を健康と考える」と述べています。

フロイトは「精神分析を受けたならば、苦痛はなくなるでしょうか」という患者の質問に対し、「あなたのつまらない悩みはなくなるでしょう。しかし、人間としての悩みはますます増えるでしょう」と答えています。

■レポート用紙の使い方

本科目専用の解答用紙に記入することが望ましいが、通常のレポート用紙に問題番号等を記入して解答してもよい。

■科目修了試験 評価基準

内容理解に加え、各自の考察を重視する。

■参考図書

佐治守夫・岡村達也・保坂亨著『カウンセリングを学ぶ』東京大学出版会、1996年

カウンセリングを深く学んでみたい方は是非この本も参考にレポートをまとめてください。とくに1単

位め問2については、この本の a 28～31頁, b 39～51頁, c 9～13頁が参考になります。